

福島第一原子力発電所の状況

2015年6月8日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (6/8 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m ³ /h	22.8	0.5 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.4 m ³ /h	29.4	3.90 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m ³ /h	26.5	0.24 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約2.0 m ³ /h			B系： 0.05 vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (6/8 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.5
2号機	循環冷却システム	停止中	22.4
3号機	循環冷却システム	運転中	20.3
4号機	循環冷却システム	運転中	19.6

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[2号機]・2015/6/8 6:19 使用済燃料プール(以下SFP)代替冷却系について、SFP代替冷却系の計装品点検を行うため停止。冷却停止時のSFP水温度は22.1。
2号機SFP代替冷却系停止時のSFP水の温度上昇率は0.138 /hであり、停止中のSFP水温度上昇は最大で約9 と評価しており、運転上の制限値65 に対して余裕があることから、SFP水温度の管理上は問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	6/5 11:19 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	6/5 11:30 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (6/8 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性及び地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 福島第一原子力発電所構内で設置している今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。
- ・2015/5/29に発見した、構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて、K排水路排水口の放射性物質濃度分析の結果、6/6 12:00採取の水の分析結果(全 値)が400Bq/Lと前日よりも上昇しているが、同日16:00に採取した水の分析結果(全 値)は200Bq/Lに低下していることから、降雨の影響により一時的に上昇したものと推定。
また、6/5、6/7採取の水の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
いずれも、港湾口連続モニタの値に有意な変動が確認されていないことから、外洋への影響はないものと考えている。引き続き、監視を継続する。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進めていく。
5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- ・屋根パネル(計6枚)の取り外し作業を5/26頃から開始することとしていたが、原子炉建屋3階機器ハッチ開口部に設置したバルーンが、所定の位置に設置されていないことが確認され、復旧に時間を要することから、屋根パネルの取り外し作業を延期する。なお、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動は確認されていない。
建屋カバー解体作業に伴う放射性物質放出抑制対策として、開口部の面積を小さくすることで放射性物質の放出量を抑える(少なく)することを目的に設置。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】・2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
5/27 立坑A、Dについて充填完了。
- 【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日5/26]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。6/6 10:05より海洋への排水を開始。同日10:11に漏えい等の異常がないことを確認。同日15:26に排水を停止。排水停止状態に異常のないことを確認。排水量は1,322m³。

【H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- < H4エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。